

きれいなことば ～『夢中で学ぶきらきらとした笑顔』～

校長 塩澤 榮一

天気にも恵まれた2日間、5月25・26日。6年生が修学旅行に行ってきました。出発のつどいは「みなさんがきらきらとした笑顔で学ぶ姿がたくさん見られることを楽しみにしています」と伝えました。

戦場ヶ原のハイキングでは笑顔で声をかけ合い、歩く姿が見られました。夕飯後に取り組んだふくべ細工では自分の図案を見ながら進んで筆を進めていました。できあがったら、友達と笑顔で見せ合っていました。2日目の東照宮の見学ではガイドさんの話を真剣に聞く姿が見られました。最後の見学地「富弘美術館」では、富弘さんの作品を一生懸命読み、書き写す姿がたくさん見られました。2日間の行程を通し、事前に学習をし、修学旅行に臨んでいることがよくわかりました。夢中で学んだ2日間となりました。



ガイドさんの話を真剣に聞く姿

1学期も折り返しの時期を迎えました。6月1日のお話朝会では「大切なウルトラ7(セブン)」の一つ、「楽しい授業」について話しました。毎日、子供たちの学習の様子を見せてもらっています。笑顔で学ぶ姿がたくさん見られます。毎時間の課題に向けて、自分の考えを持たせます。そして、その考えを友達に伝えます。友達の考えを聞くことによって、自分の考えを深める。この「伝え合い・聞き合っ、学び合う」という時間を大切にします。3日の土曜参観では、各学級2時間の授業を公開します。子供たちが学び合う、「楽しい授業」を見ていただきたいと思います。よろしく願います。

校長の学び「今月の読書」

技術のミスか判断のミスかを問わず、選手ができないのは僕が教えていないからです。できるようになるための練習を、僕が提供できていないからです。就任1年目は監督の仕事に慣れないこともあって、「負けたことを選手のせいにするな」といつも自分に言い聞かせていました。「結果の責任を選手に押しつけない」という基本姿勢は、その後もずっと持ち続けていきます。 栗山英樹「栗山魂 夢を正夢に」

先生方の日々の教育活動を見守り、できる限り指導助言及び支援をする。自分の大切な仕事であると言い聞かせています。